

島根県益田市二条地区

地域づくりのテーマ： **里山をいかし、人と自然がつながる二条『みんなでつろうてようしようやあ』**



令和3年11月25日(木)の「岐阜県庁市町村課視察団」の御一行21名！
岐阜県下より現役・OBの地域おこし協力隊の20～40代の若手メンバーが来益され、
本会得意の「有害鳥獣対策」から定着率の非常に高い「UIターン者の定住」まで、
午後2時から時間ギリギリの5時半まで、質問攻めの嵐でした！
(上写真は、羽原地内にある「サル囲い檻」現場にて)

① 地区の概要

【地区の現況】

自治会数：5、集落数：23、世帯数：254

人口：479名（男性：217名、女性：262名）

高齢化率：53.9%

(令和4年1月末時点)

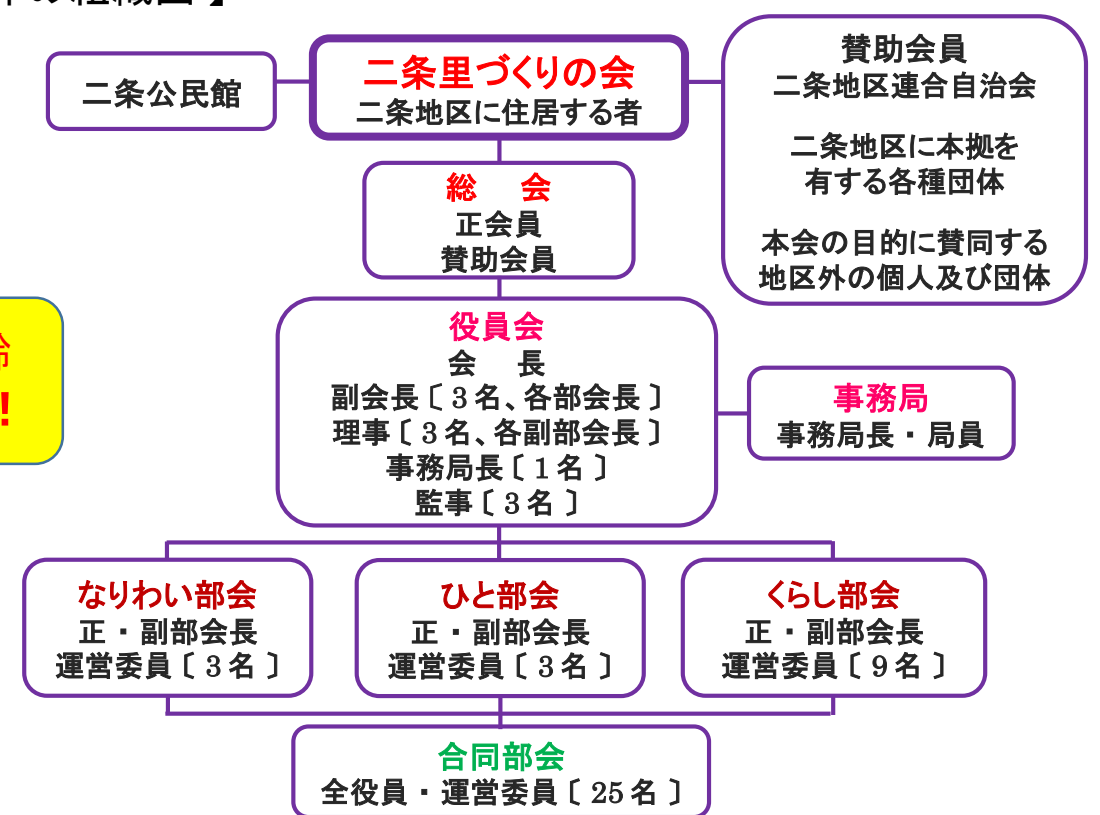
【地区の魅力】

「3本の県道と1本の農道の輪」で形作られ比較的標高差の少ない
当地区は、益田市指定文化財となっており眺望が絶景の「横山城址」、
地区人口の3倍もの来場者が訪れる6月の「ホタル祭」、抜群に美味
しい「二条米」、江戸期から昭和中期にかけて5軒もの旅籠（はたご）
が軒を連ね、物々交換の「市」が立つ基点となる街道筋の「宿場町」
だった等々、歴史ロマン漂う源氏ボタルの舞う桃源郷です。

【地区の課題】

少子高齢化による人口減少から平成30年3月18日、惜しまれつつも
地区内にあった市立西南中学校が閉校。耕作放棄地・空き家の増加、
有害鳥獣被害の増大、後継者不足による地場産品の消滅危機、高齢者
の買い物難民化等、中山間地域特有の多種多様な問題を抱えています。

【団体の組織図】



② 実施団体の概要

【団体の名称】

地域自治組織

二条里づくりの会

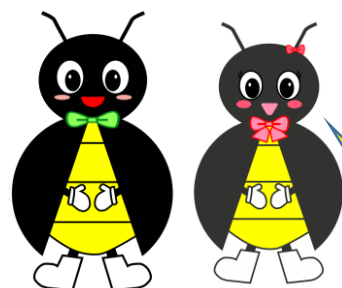
【構成団体、構成員】

役員・運営委員 **全25名**

- ・なりわい部会 **5名**〔副会長・理事各1名を含む〕
男性4名、女性1名
- ・ひと部会 **5名**〔副会長・理事各1名を含む〕
男性3名、女性2名
- ・くらし部会 **11名**〔会長・副会長・理事各1名を含む〕
男性7名、女性4名
- ・事務局長・監事3名 男性3名、女性1名

構成比 男性：68.0%、女性：32.0%

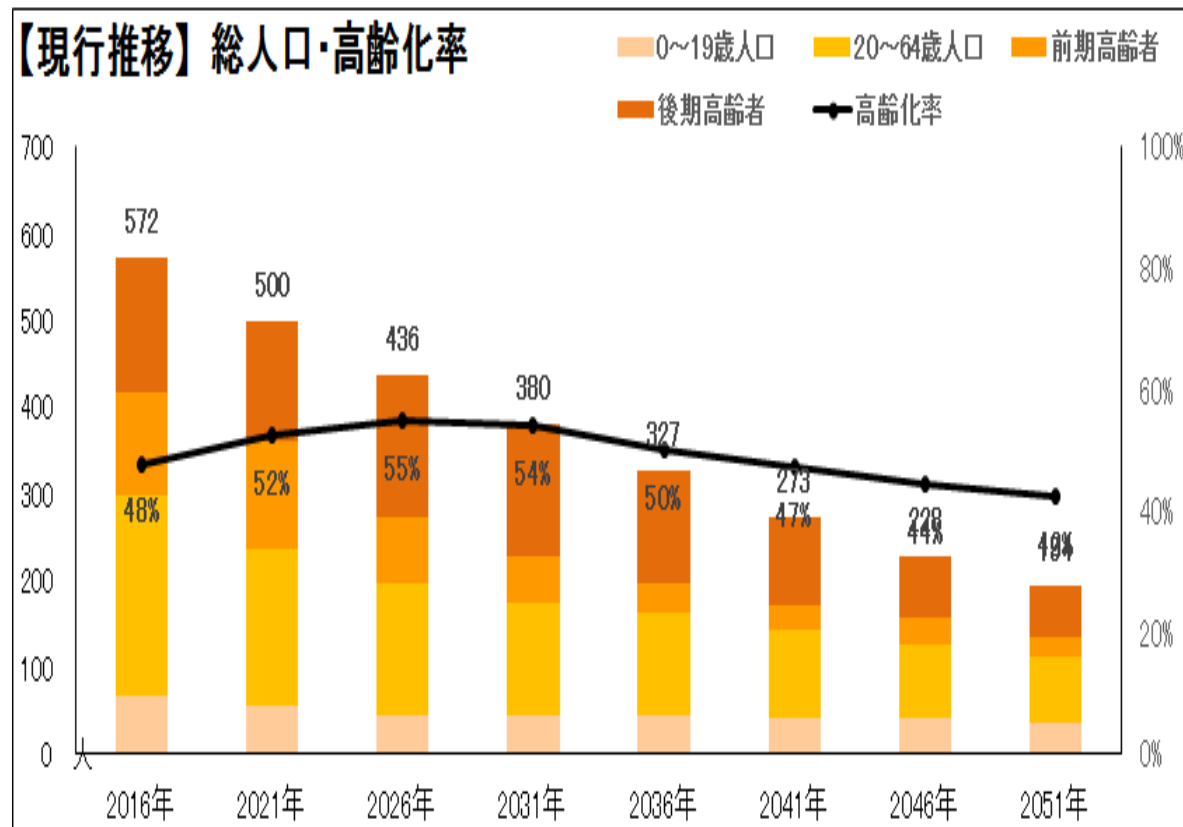
「女性陣の“井戸端会議の声”は威力大なり！」



平均年齢
63.2歳！

③ 地区の人口シミュレーション(2016-2021)

【現行推移】総人口・高齢化率



資料：島根県中山間地域研究センター「2021人口推計シート」

④ 地域の魅力化に向けた取組

二条里づくりの会は、「なりわい・ひと・くらし」の3部会により構成されており、令和2年度に新しく策定された「令和2～7年度 元気なむらづくりプラン Part.2」〔6カ年計画〕で、活動の「7本柱」

- ・次世代を育成する事業
- ・住民をふやす事業
- ・高齢者にやさしい事業
- ・新たな産業を興す事業
- ・安全安心な暮らし事業
- ・環境をよくする事業
- ・里山の環境を活かす事業



を引き継ぎ、前半期は新型コロナウイルスの影響で活動も停滞気味でしたが、その後は「二条ふるさと便（お中元・お歳暮）の受注と発送」、「お試し体験古民家住宅『つどい』の活用」、「世代間交流の実施」、「空き家バンクを活用した、UIターン者誘致」、「自主防災組織の設立」、「ICT技術・IoTデバイスを活用したサル防除活動が中心の有害鳥獣対策」、「地域マネージャー制と法人化の検討」、「視察対応」、「地区内交通の検討」等、差別化した取り組みに挑戦しました！



品川勝典会長

【会長の回顧録と決意】 令和2年度に策定した新しい「第2期6ヵ年活動計画」の2年目だった本年度も一昨年同様、春先からの「新型コロナウイルス」の感染拡大騒ぎで『今年こそは！』と事業活動を本格的に実施する予定だったのですが、残念ながら特に前半期は活動の停滞を余儀なくされてしまいました。でも、「まちづくり活動特別補助金」の申請からプレゼンに挑む頃より、各3部会の活動も活発に動き出したように感じています。

今は特に、「高齢者の足」問題と「地域マネージャー制」導入の検討、そして険しき道なれど「法人化」の方向性を探っています。来年度は「自治組織座談会」を主催しなければなりませんし、地域が活性化し、住民が安心・安全に暮らせるよう、そして本会ももう一段飛躍出来るよう頑張る決意です。かの厄介者には、早く終息して欲しいですね。

島根県益田市二条地区

⑤ こんなことが話し合われています



令和3年5月
16日(日)
定期総会



「前年度事業報告・決算」と「今年度事業計画・予算」の承認を受けた令和3年度の定期総会は、「検温・手指消毒・マスク着用・聞き取り記入」といった新型コロナウイルス感染症対策を施した上で、「参加者多数の場合に入場制限する、通常開催」といった方式を採りました。そして無事、「34分間」といった短時間で開催することが出来ました。

【6月8日(火)第3回役員会】
総会明けの役員会では、「まちづくり活動特別補助金」の申請について、活発な議論が交わされました！

【7月9日(金)足と法人化協議】
西部県民センター・市社協・吉野さんを招いて「高齢者向けの足と法人化」の協議が行われ、広島のジェニー山本さんも駆けつけてくれました！

【7月21日(水)跡地利用会議】
中々進まない「旧西南中の跡地利用」に関し、役員・運営委員が一堂に会し、激論を戦わせました！さて、この行く末は？



11月6日(土)、美都町の板井川で「粉炭」を製造しておられる山本粉炭工業を訪ね、山本明男社長にお話を伺いました。山本社長は苦労の末、「作業車両走行路付きプール式炭化平炉」(特許第5560383号)を発明！そしてこの度、「文部科学大臣賞～令和3年度地方発明表彰～」を受賞されたとのこと！今まさに流行の「SDGs(持続可能な開発目標)」の活動方向や社会的ニーズにも合致する優れたものです。なお、仮にその事業を興そうとすると「ある程度の準備資金・土地・大型ダンプが入れる道・水源」が必要とのことで、中々ハードルは高いなあと感じさせられた1日でした～。

11月25日(土)、今まで本会を訪ねられた視察団の中では最遠方の岐阜県より「岐阜県庁市町村課視察団 21名」の方々が、午前中「真砂地区」、そして午後から本会を視察されました。その目的は、「ICT技術・IoTデバイスを利活用した地域自治組織の取り組み・・・特化した有害鳥獣対策を知りたい」というもので、ここは竹田副会長と佐藤理事の出番！午後2時から2時間近く公民館でみっちり質疑応答に答え、その後羽原の「サル囲い檻」の現場に案内し、実物を見ながらまたひとしきり質問に答えておられました。話を聞いて感じたのは、本会は「人」に恵まれているということ！電話1本で現場に駆けつけてくれる「猟友会メンバー＝本会会員」の体制は、これからも大切にしなければなりませんね！

11月29日(月)、10月11日(月)に開催された「自治組織座談会」の反省会が行われました。今回の座談会後のアンケートを基に、「次回の開催の是非」、「主催」及び「テーマ」等について話し合い、「来年6～7月の開催」、「二条里づくりの会」、「地域マネージャー制と法人化」ということ等が決められました。「横の繋がり、情報交換の場を持ちたい」との会です。これからも継続したいものですね！

⑥ こんな地域づくりを行なっています

なりわい部会

《二条ふるさと便事業》



【お中元】



【お歳暮】

本年度は、8月3日(火)にお中元、12月2日(木)「地元注文」、12月20日(月)「近畿益田会注文」のお歳暮を発送。昨年より近畿益田会へ向けての受注活動を始め、今年はお中元は行ないませんでしたが、お歳暮の方は「13箱」の心温まるご注文を頂き、地元の方々からも「お中元：9箱」「お歳暮：46箱」のありがたいご注文を頂きました。本年度のお歳暮より「3種類」と、内容の違うセットのラインナップを増やしましたので、また1歩前進かと！これからは「二条米のブランド化」が待っています！

ひと部会 ①

《次世代育成・交流人口拡大事業》



10月14日(木)、今年で6回目となる「どんぐりの森づくり活動」(森林を守ろう！山陰ネットワーク会議、主催：NPO法人アンダンテ21、島根県企業局源流保全支援事業、協力：本会)が行なわれ、安田小の5年生40名を含む総勢54名が参加！5年も経つと5m近くに育った木もあり、苦勞して植え守り育てることがいかに大切か、泥だらけになりながら子供も大人も学べる、大変有意義な1日でした。滋養豊かな広葉樹の森を取り戻そうとするこの活動、来年以降も継続します！事前の草刈りもお手伝いを求めていますので、興味のある方は是非、ご参加下さい！

ひと部会 ②

《次世代育成・交流人口拡大事業》



10月31日(日)、地区外：6組18名、地区内：22名の総勢40名が参加しての「親子で芋ほり体験会」が、お試体験古民家住宅「つどい」前の畑で行われました。この活動には、地区外の親子にも「田舎体験」をさせてあげたいという想いと、「次世代育成・交流人口の拡大」がテーマとしてあり、今年が3回目となりました。年々参加者も増え、収穫したサツマイモ入りの「豚汁」と羽釜で炊いた「イモご飯」の振る舞いに加え、イモは「お持ち帰り放題！」です。また皆さん、ご参加ください！

くらし部会 ①

《鳥獣対策事業》



11月12日(金)、島根県西部農林水産振興センターの名生啓晃技師を講師にお招きし、桂平小学校の児童・地区民を対象に13:45から14:30の5時間目を使って「クマから身を守る方法研修会」が開催されました。当日は児童17名と大人12名が参加。センターから持って来られた「小熊のはく製」に子供達は興味津々で、クマの生態を伺い、遭遇した時の「対処法」も学んで実践！「サル・イノシシ・アライグマ」もですが、「クマ」は特に「防除」が難しいのです。故に毎年、勉強会を開いています！

くらし部会 ②

《自主防災組織設立・子ども社会教育事業》



11月21日(日)に開催した「収穫祭」では、本年度の「宝くじのコミュニティ助成事業」で導入した「アルミステージ・アルミ製パイプ椅子・アルミ製テント」を初使用し、昨年度の「まちづくり活動特別補助金」で導入した「まかないくん基本セット」も、豚汁づくりで大活躍！アルミ鍋は平均100人分の汁が出来るし、双方全てアルミ製だから軽くてサビにも強く、長持ちすること受け合い！これからの突発的な災害時、当地区での避難所運営に絶大な威力を発揮するでしょう！

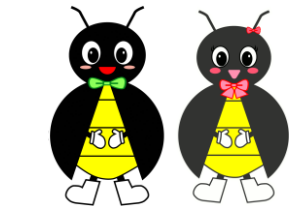
番外編！

《初開催～自治組織座談会～》

10月11日(月)、須子町の益田市総合福祉センターで、初の「自治組織座談会」が開催されました。8月のお盆明けより、当初の発起人会「吉田・二条・真砂」3地区の会長・事務局長・応援隊員が集まり、構想を練ってまいりました。「コロナ禍」の中で、先ずは「会場」が問題となりましたが、吉田地区自治協議会の久保 稔 会長、池田由岐夫事務局長、石田令子応援隊員のご尽力で、無事センターを確保！当日は、A～D班に分かれてのワークショップ形式で臨んだのですが、『内容は良かったのだが、隣の班の声が聞こえて、聞きづらかった』との感想が聞かれました。如何せん初めての開催でしたので、色々と不手際もあったかも知れませんが、そここのころはご勘弁を！アンケート結果からは、おおむね「85点」は付けられるのではないかと…。来年、また頑張ります！



お問い合わせ先



二条里づくりの会

事務局(二条公民館内)

〒698-2254 島根県益田市桂平町76番地1
Tel・Fax 0856-29-0001

Web: <https://nijo2project.wixsite.com/website>
Facebook: <https://www.facebook.com/nijo2project>

